みんなの力を地域の力に！
社協会員募集中！

はちおうじ 社協だより

第205号

発行 社会福祉法人
八王子市社会福祉協議会
〒192-8501
八王子市元本郷町三丁目24番1号 八王子市役所内
電 話／042-620-7338
FAX／042-623-6421
メールアドレス／info@8-shakyo.or.jp
HP▶https://www.8-shakyo.or.jp/

本会HPへ
二次元コードで
簡単アクセス!!

社協だよりの音声データ（CD）を、ボランティアグループ
南大沢音訳の会「こだま」のご協力で作成しています。

VEGETABLE OIL INK　UD FONT　FSC® 森林認証紙を使用しています。

八王子市社会福祉協議会 創立100周年 想いをつなぐ



















「市民や地域とともにこれからも想いをつなぐ」

大正15年9月12日、当時の市長の提唱（福祉事業は直接市が実施するより外郭団体をつくり運営する方が適切）により八王子市社会福祉協議会の前身となる八王子市社会事業協会が創立してから今年で100周年を迎えました。

発足以来、市民の皆様や関係機関・団体の皆様のご理解・ご協力のもと、様々な福祉活動や事業を展開してまいりました。この間、ご支援をいただきました皆様方のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

今後も本会の基本理念である「だれもが、地域の中で、共に支えあい、安心して、元気で活き活きと暮らすことができるまちづくり」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人
八王子市社会福祉協議会
第19代会長
山本　英雄



あなたの想いを地域福祉のチカラに

会員会費ご協力のお願い

寄せられた会費は、地域福祉推進事業の大切な財源となっています。
ぜひ、継続してご支援をお願いいたします。


災害にも強いまちづくり

このような事業に使用しています


ボランティア活動の推進

昨年度の会員会費合計は
7,299,516円でした。

ご協力ありがとうございました。

会員会費の使途、会費の詳細についてはホームページをご覧ください。

問合せ ボランティアセンター（市民力支援課）☎ 042-673-2011

社協だよりの休刊について

本会では今まで「社協だより」を通じて、事業の周知や活動の報告等、様々な情報をお届けしてきました。

近年、情報発信の手段が大きく変化し、ホームページやSNSなどを通じて、より迅速かつ多様な形で情報をお届けできる環境となりました。本会においても、皆さまが時間や場所を問わずに必要な情報にアクセスできる広報体制の整備を進めてきました。こうした背景と紙資源の使用削減による環境負荷軽減への取組みの視点から、社協だよりは本号をもって休刊とさせていただきます。今後はホームページやFacebook・Instagram等のデジタル媒体を中心に、タイムリーな情報発信に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申しあげます。

Facebook も Instagram
ご登録お願いします！

近年トピックス

地域に出向く社協へ

地域福祉推進拠点の開設

地域座談会

平成26年に地域の身近な相談の場・市民活動の場として地域福祉推進拠点（現はちまるサポート）を開設。地域担当職員を配置し、住民主体での福祉活動を行っています。
令和6年からは地域との対話を強化、地域座談会を実施。
社協が地域に出向き、地域住民・団体・専門機関等がつながる地域づくりを目指しています。



居場所が育む日々のつながり

孤独・孤立対策、居場所作り
（子ども食堂、学習支援、はちまるファーム等）

重層的支援体制整備事業

令和3年に重層的支援体制整備事業、令和4年に地域子ども支援事業の受託等、孤独・孤立を抱える人への支援や、子どもをはじめ誰もが安心して過ごせる居場所づくりを進めてきました。一人ひとりが地域とつながり、交流や社会参加ができる地域づくりを進めています。



突然の生活課題に寄り添う

台風19号：災害ボランティアセンター設置

新型コロナウイルス：生活困窮支援

令和元年の台風19号により被災した地域の復旧のため、災害ボランティアセンターを運営し、被災者の生活再建を支援しました。新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年からは、生活困窮者への相談支援や生活福祉資金の特例貸付などに取り組みました。災害や感染症への対応を通じ、平時から築いてきた地域のつながりが、危機の中で支えあう力となることを改めて実感しました。



最後までその人らしく

法人後見受任開始

高齢化や家族形態の変化により、身近に支援者がいない人が増える中、判断能力が低下しても安心して地域で暮らし続けられるよう、令和3年から法人後見の受任を開始し、本人の意思を尊重し、地域の権利擁護を支える取り組みを通じて、誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる体制づくりを進めています。



かたちを変えながら続く支えあい

ひとりぐらし高齢者調査事業の市への継承

歳末たすけあいバザー、昼食交流会事業の終了

昭和42年のねたきり老人調査を源流とし長年自主事業として行ってきたひとりぐらし高齢者実態調査は、民生委員と協力して地域の実情を把握し、見守りの基盤を築いてきました。令和4年から八王子市の高齢者世帯実態調査として、引き続き社協も協力しています。また、歳末たすけあいバザーや昼食交流会など、長年地域とともに育んできた活動は、時代やニーズの変化に伴い終了したものもありますが、地域に根付いた「支えあいの文化」は今も受け継がれています。





企業のチカラを福祉へ

地域福祉応援企業

地域福祉のまちづくりに賛同する企業と社協がタッグを組み地域を元気にする仕組みとして企業会員制度「地域福祉応援企業」を令和5年度から開始しました。企業の持つ人材や技術、ネットワークなどの力を地域福祉に生かし、社協・地域・企業がともに地域の課題に向き合うことで、支えあいの輪を広げています。



変わる時代と変わらぬ想いをカタチに

八王子社協のあゆみ

大正 15（1926）	9月	八王子市社会事業協会として発足
昭和 17（1942）	1月	財団法人八王子市社会事業協会となる
昭和 27（1952）	5月	社会福祉法人八王子市福祉事業協会となる
昭和 36（1961）	4月	八王子市社会福祉協議会に改称
昭和 42（1967）	4月	社会福祉法人八王子市社会福祉協議会となる
平成 12（2000）	10月	八王子市福祉公社（ハートピア公社）を統合
平成 26（2014）	12月	地域福祉推進拠点を開設
令和 3（2021）	10月	地域福祉推進拠点を重層的支援体制整備事業受託に伴い八王子まるごとサポートセンター（愛称：はちまるサポート）に名称変更
令和 8（2026）	9月	創立 100 周年

大正～昭和前期
（社会事業協会時代・昭和 36 年まで）

大正 15 年 9 月 12 日、当時の八王子市長武藤文吾氏により「社会事業は直接市が実施するより外郭団体をつくり運営する方が適切である」との考えから、本会の前身となる八王子市社会事業協会が設立され、市内の様々な福祉関係者から協力を得ながら生活困窮者への支援等にあたりました。設立当時は関東大震災直後や世界恐慌、戦前戦後の不安定な時代であり、そうした社会背景のニーズに応じた事業を展開していきました。

この頃の主な事業

- 方面委員（現・民生委員）を市内に設置（大正 **15** 年）
- 多賀・天満・静教の 3 保育園開園（昭和 **2**～**5** 年）
- 八王子盲学校開校・運営にあたり支援（昭和 **5** 年）
- 歳末たすけあい運動の開始（昭和 **34** 年）



初代会長
武藤　文吾
大正 15 年 9 月～昭和 4 年 7 月



多賀保育園



静教保育園



天満保育園

平　成

バブル経済の終わりを迎え、平成 2 年福祉関係 8 法の改正や、平成 12 年介護保険制度、成年後見制度改正等、平成は福祉の世界でも「措置から契約へ」と大きな変化を迎えました。平成 7 年の阪神淡路大震災をきっかけに、災害ボランティアや NPO といった活動が生まれた時代でもあります。本会も「福祉サービス」「災害支援」をはじめ、地域住民が主体的に地域福祉活動をする力（市民力）・多様な主体が協力する力（地域力）の向上等に取り組んできました。

この頃の主な事業

- 八王子市立学童保育所の管理運営事業を受託（平成 **3** 年）
- 地域福祉権利擁護事業を開始（平成 **12** 年）
- 居宅介護支援事業所「はちおうじ社協」を開設（平成 **14** 年）
- 在宅福祉サービスの愛称を「うぃず」に命名（平成 **16** 年）
- 東日本大震災被災地支援（災害ボランティアセンターへの職員派遣・活動支援金）実施（平成 **23** 年）
- 成年後見・あんしんサポートセンター八王子を開設（平成 **25** 年）
- 地域福祉推進拠点を開設（平成 **26** 年）
- 生活支援体制整備事業を受託（平成 **28** 年）



地域福祉推進拠点石川　開設時



東日本大震災被災地支援

昭和後期
（八王子市社会福祉協議会改称以降・昭和 36 年～）

全国の市町村社協立上げの流れの中で、本会も昭和 36 年に社会福祉協議会へと改称。昭和 42 年に社会福祉法人化を行いました。さらに昭和 58 年の社会福祉事業法改正により、社協は国によって法制化され、地域福祉の推進を担う存在として位置づけられました。高度経済成長期を迎え国民の生活が大きく変化する中、ボランティア活動が活発化し、社会課題に合わせて新たな取り組みが創出された時代です。

この頃の主な事業

- 家庭福祉員（保育ママ）運営事業を市から受託（昭和 **40** 年）
- 施設児童プール招待事業を開始（昭和 **41** 年）
- ねたきり老人調査（後の高齢者実態調査）を開始（昭和 **42** 年）
- ひとりぐらし老人調査を開始（昭和 **44** 年）
- 歳末たすけあいバザーの開始（昭和 **47** 年）
- 無縁仏供養事業、母子家庭高尾山招待事業を開始（昭和 **49** 年）
- 老人のみ世帯調査を開始（昭和 **50** 年）
- 社協事務所を新設、ボランティアセンターを開設（昭和 **52** 年）
- 昔話を聞く会（後の昼食交流会）事業を開始（昭和 **54** 年）
- 手話協力者派遣事業を開始（昭和 **57** 年）
- 車いす貸出事業を開始（昭和 **63** 年）



昭和 52 年開設の社協事務所



施設児童プール招待事業

令　和

技術革新等による急激な社会変化やそれに伴う新たな社会課題の発生、平成の終わり頃からは災害の多発化・激甚化が見られるようになり、八王子市でも令和元年に浅川・恩方地域を中心に豪雨災害に見舞われました。加えて令和元年末に発生した新型コロナウイルスによる感染症は世界全体を巻き込み価値観が大きく転換したと言えます。本会は 100 周年を迎え、市民の皆様と共に更なる地域福祉の推進に向けて尽力してまいります。

この頃の主な事業

- 八王子市にて災害ボランティアセンターの開設・運営（令和**元**年）
- 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付（緊急小口資金）を開始（令和 **2** 年）
- 重層的支援体制整備事業を受託
  地域福祉推進拠点をはちまるサポートに改称（令和 **3** 年）
- 法人後見受任を開始（令和 **3** 年）
- 地域子ども支援事業（はちおうじミライ応援団）を受託（令和 **4** 年）
- 在宅ひとりぐらし高齢者実態調査が、自主事業から市の事業に（令和 **4** 年）
- 新会員制度「地域福祉応援企業」を開始（令和 **5** 年）
- 能登半島地震被災地支援（市民ボランティア派遣）実施（令和 **6** 年）



能登半島地震被災地支援



市内での災害ボランティア活動

MURAUCHI

村内ファニチャーアクセス助成事業

積極的に社会貢献活動を展開している株式会社村内ファニチャーアクセス様の寄付金をもとに、助成事業を行います。

詳細は、本会HPをご覧いただくか、下記問合せ先までご連絡ください。

対　象　地域福祉の推進に向けた物品購入費の助成

助成金額　75万円（上限額）

申込み　申込書に必要事項をご記入のうえ、添付書類を添えて総務担当（市役所本庁舎B階）に提出

申請期間　10月1日（木）～10月30日（金）【郵送必着】

問合せ 総務担当　☎ 042-620-7338　FAX 042-622-2701

令和8年熊本地震 災害ボランティアリーダー支援金のお願い

令和8年熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
本会では、被災地で復旧復興支援活動を行う、八王子市民のボランティアの活動費となる災害ボランティアリーダー支援金の募金を行っております。
みなさまの温かいご支援をよろしくお願いします。
詳細はホームページをご覧ください。



八王子の未来のボランティアリーダーを熊本へ



©2010 熊本県くまモン＃熊本支援

問合せ ボランティアセンター（市民力支援課）☎ 042-673-2011

成年後見・あんしんサポートセンター八王子からのお知らせ

成年後見制度 学習会

成年後見制度～入門編～

日　時　①10月23日（金）午後2時～4時
②12月 9 日（水）午後2時～4時
※①、②の内容は同一のものです

10月23日用 申込みフォーム

場　所　①南大沢市民センター　会議室1
（南大沢2-27 フレスコ南大沢公共棟3F）
②由井市民集会所　第3会議室
（片倉町119-4 由井事務所2階）

12月9日用 申込みフォーム

講　師　司法書士（リーガルサポート所属）

内　容　制度の基本的な仕組みや利用方法について、後見業務に携わる司法書士にご説明いただきます。

対象者　八王子市内 在住・在勤・在学の方

申込み　30名（お電話・FAX・申込みフォームにて要予約）

成年後見制度と家族信託の基本知識

日　時　11月19日（木）午後2時～4時

11月19日用 申込みフォーム

場　所　東京たま未来メッセ 第5会議室（明神町3-19-2）

講　師　司法書士（リーガルサポート所属）

内　容　「財産管理を他者に任せる制度」である家族信託と成年後見制度。それぞれどのような違いがあるのか、事例を交えてお話しいただきます。

対象者　八王子市内 在住・在勤・在学の方

申込み　30名（お電話・FAX・申込みフォームにて要予約）

問合せ・申込み 成年後見・あんしんサポートセンター八王子
☎ 042-620-7365　FAX 042-622-2701

専門家による成年後見・権利擁護相談

2026年	弁護士	司法書士
10月	13日	20日
11月	10日	17日
12月	8日	15日

※要予約
※午後2時～4時までの間
※1組30分程度（原則、一回限り）

赤い羽根共同募金にご協力を ～支える人を支える募金～

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。今年で80回目を迎えます。

この募金は、市内の福祉施設の車両や備品の整備、災害時にも活用されています。

皆さまの「たすけあいの精神」に支えられる共同募金に、温かいお気持ちをお寄せください。

街頭募金予定　10月1日（木）・2日（金）
JR八王子駅南口 コンコース・京王電鉄高尾駅付近にて実施
詳細は本会ホームページをご覧ください。

歳末たすけあい募金にご協力を ～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

12月1日より「歳末たすけあい運動」が始まります。共同募金運動の一環として毎年12月に募金活動を実施し、集まった寄附金は市内の地域福祉の推進に役立てられています。

ぜひ歳末たすけあい募金に、温かいお気持ちをお寄せください。

昨年度　募金 6,364,420 円

（共同募金への寄付金は、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくは、税務署へお問合せください。）

問合せ ボランティアセンター（市民力支援課）　☎ 042-673-2011

第18回 長房ふれあい館文化祭

（作品展・舞台発表）

令和8年10月17日(土)・18日(日)



作品展　17日（土）・18日（日）午前9時～午後3時
編み物・書道・俳句・パンフラワー・絵画など

舞台発表　18日（日）午前10時30分～正午・午後1時～4時
手話ダンス・フラダンス・ベリーダンス・ヒップホップ・武術演武など

会　場　**長房ふれあい館**
（長房町588番地都営長房アパート西1号棟1階）



問合せ 長房ふれあい館　☎ 042-669-1433

令和8年度 アイバンク福祉基金助成団体決定

市内で様々な奉仕活動など積極的な社会貢献活動を行っている「東京八王子中央ライオンズクラブ」からの寄付金を原資として行う『視聴覚障害者アイバンク福祉基金助成事業』の令和8年度における助成先が決定しました。

団体名	助成事業	助成金額
八王子音訳の会「灯」	音訳活動必要物品整備事業	180,450円

問合せ 総務担当　☎ 042-620-7338　FAX 042-622-2701

令和7年度はちまるサポート活動報告書発行しました！



この報告書を見れば、はちまるサポートの全てがわかる？！

相談事例だけではなく、地域との取り組み等をイラストや写真を使用して分かりやすくまとめています！

はちまるサポートの活動は、地域の皆様の力無くしては成り立ちません。これからも地域の皆様との出会いに感謝しながら、活動を進めていきます！

問合せ 支えあい推進課　☎ 042-673-4935　FAX 042-666-3315